

京都市市民参加推進フォーラム

第2回 職員のための市民参加推進の手引き(市民活動編)作成部会

次第

日時：平成26年12月 5日（金）

午後6時30分～午後8時30分

場所：職員会館かもがわ 3階 第3多目的室

1 開 会

2 議 題

(1) 今後のスケジュールについて

(2) 市職員円卓会議について

3 閉 会

【配布資料】

資料1 平成26年度全体スケジュール（案）

資料2 市職員円卓会議について（案）

平成26年度全体スケジュール(案)

資料1

月	全体会議等	計画改訂部会	手引き作成部会
11		第1回 部会会議(11月13日) 【議題:施策の進捗について, 所感を共有① (推進施策1, 2)】 ↓	第1回 部会会議(11月10日) 【議題:冊子のコンセプト検討及び, 職員円卓会議の準備】
12	12月18日 第46回 全体会議	第2回 部会会議 【議題:施策の進捗について, 所感を共有② (推進施策2, 3, 推進体制)】 第46回全体会議で進捗報告 ↓	第2回 部会会議(12月5日) 【議題:市職員円卓会議について検討】 第46回全体会議で進捗報告
1	職員円卓会議	第3回 部会会議 【議題:施策の進捗所感のまとめ, 向こう5年に力を入れるべき内容の検討及び, 市民参加円卓会議の準備】	〈職員円卓会議にて, ニーズ把握及び事例収集〉 自主勉強会(職員円卓会議終了後) 【議題:市職員円卓会議の結果整理及び役割分担】
2	市民参加円卓会議	↓ 〈市民参加円卓会議の結果整理〉	(原稿作成) ↓
3	第2回公募委員サロン 3月19日 第47回 全体会議	第4回 部会会議 【議題:市民参加円卓会議の振り返り及び, 改訂計画のイメージを作成】 第47回全体会議で改訂計画のイメージを報告	第47回全体会議で原稿確認→発行準備

市職員円卓会議について（案）

1 開催目的

職員のための市民参加推進の手引き（市民活動編）の作成に資するため、主に以下の情報を職員から直接聴取する。

- (1) 普段から、直接的に市民（活動）と接することの多い職員から、市民（活動）と接するうえでのコツや悩み等の実感を聴取する。
- (2) 普段から、直接的に市民（活動）と接することの少ない職員から、市民（活動）に対する考えやイメージを聴取する。
- (3) とりわけ、市民活動の支援や市民との協働を進めるに当たり、不安なこと、分からないこと、判断に悩むこと等の職員の課題意識を聴取する。

2 日 時

平成27年1月13日～2月初旬 午後1時30分から4時30分まで

3 会 場

職員会館かもがわ（予定）

4 対象者

- (1) 市役所、区役所・支所の企画担当、事業担当の職員等
- (2) 市役所、区役所・支所の庶務担当の職員等
（課長級までの職員、合計30名程度を想定）

5 タイムスケジュール

12:00	○事前打合せ【フォーラム委員手引き作成部会委員のみ】
13:30	○開会，挨拶（5分）
13:35	○趣旨説明（15分） 市民参加推進フォーラム職員のための市民参加推進の手引き作成部会 部会長 竹内 香織 氏
13:50	○グループワーク（130分） ・各テーブルにファシリテーション担当者（フォーラム委員，まちづくりアドバイザー）1名。
16:20	○まとめ（10分） 市民参加推進フォーラム座長 永橋 爲介 氏
16:30	○終了
17:30～	○職員のための市民参加推進の手引き作成部会 自主勉強会 成果共有及び手引き作成に向けての作業確認 【フォーラム委員手引き作成部会委員，外部ファシリテーター1名】

市職員円卓会議のグループワークについて（案）

案１－１ 共通テーマ型①

対象者を従事している業務で区別せずに５人～６人程度のグループに分け、全テーブルに対して共通のテーマをお題として投げかけ、議論してもらう。

○テーブルメンバー

色んな業務に従事している人が混在

○テーマ

- ①『市民の自主的な活動』と聞いて、どんなイメージを持ちますか？
- ②『市民の自主的な活動』を支援するとはどういうことだと思いますか？
- ③ 推進施策２について、自分の経験に基づいての所感を共有してみよう

案１－２ 共通テーマ型②

テーマをより具体的な事例検討として実施する。

案２－１ 個別テーマ型①

対象者を従事している業務で区別し、各テーブルでテーマを設定して議論してもらう。

○テーブルメンバー

ある程度同じような業務に従事している人

○テーマ

・【市役所、区役所・支所の庶務担当の職員のテーブル】

・自分の仕事と市民（活動）との接点は？

・【市役所、区役所・支所の企画担当、事業担当の職員のテーブル】

・市民（活動）との関わりの中で、苦労していることは？

案２－２ 個別テーマ型②

テーマをより具体的な事例検討として実施する。